

勉強や仕事を離れたひととき、プラネタリウムで宇宙をのぞいてみよう

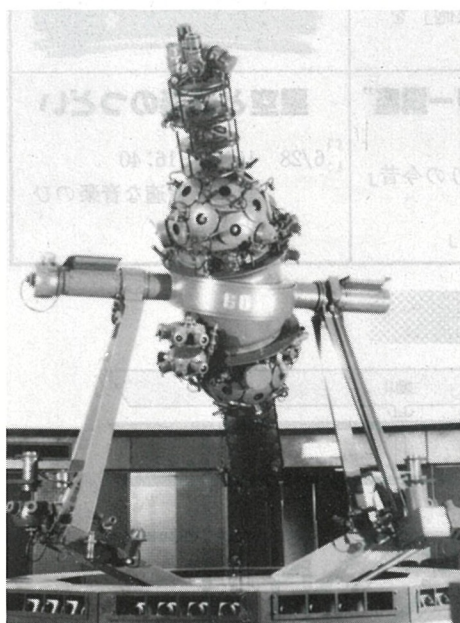
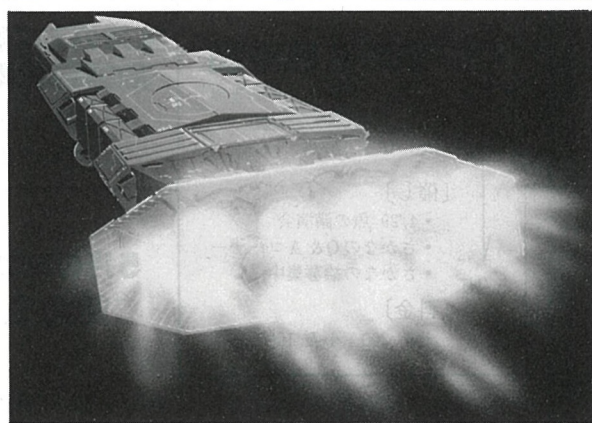
プラネタリウムからのご案内

一般投影……62年プラネタリウム春番組2/28～6/7

春の星空と太陽

投影後、ご希望の方には“柏崎の今夜の星空”をご覧くださいいております

おかげ様でプラネタリウムも昨年7/19のオープン以来、今年の3月で観覧者が17,000人を越え、投影回数も300回に達しました。これからのプラネタリウムもどうぞよろしく願いたします。



～博物館プラネタリウム～

・五藤光学製作

G X-A T型

・ドーム径 12メートル

・座席数 124席

(一方向式)

■ 料 金

大 人 100円 (80円)

小 人 50円 (40円)

() 内は20名以上の団体料金

■ 投影日及び時間

土 曜 日	—	14:00
日曜及び祝日	10:30	14:00

次回夏番組予告

“夏の星空とブラックホール”

6/13～

催 し も の

“星空と音楽のつどい”

6/28 (日) 16:00～16:40

～星空と素適な音楽のひとときを～

※ご希望の方が20名以上の場合他の日時でも投影いたします。

また団体で申し込まれる場合は事前にも博物館までご連絡下さい。

お知らせ

プラネタリウムでは、一般投影とは別に小学生を対象とした学習投影（太陽と月と星の動き）も投影しています。学校関係の方々にはぜひ見ていただきたい内容です。ご利用の際は事前にご連絡下さい。お待ちしております。

柏崎市立博物館・TEL 22-0567

プラネタリウムからのご案内

夏番組 一般投影

夏の星空とブラックホール

投影時間 約35分

期間 6/13～9/6 (月曜休館)

夏の星座



- ☐ 料 金
- 大 人 100円(80円)
小 人 50円(40円)
() 内は20名以上の団体料金

☐ 投影日及び時間

土 曜 日	——	14:00
日曜及び祝日	10:30	14:00

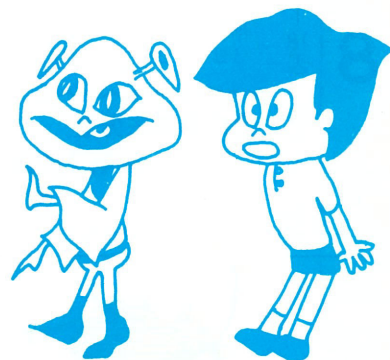
※ご希望の方が20名以上の場合、他の日時でも投影いたします。また団体で申し込まれる場合は事前に博物館までご連絡下さい。

お知らせ

夏休み特別企画

昨年と同様、プラネタリウムでは夏休みの7/28～8/30の間、毎日(但し月曜休館)10:30と14:00に投影します。また希望者が多い場合は、追加投影も考えておりますのでどうぞ よろしく お願いいたします。

いよいよ夏、夏は天の川が1年中で1番美しく、双眼鏡で手軽に楽しめる天体もいっぱいです。星の中では、よいの東の空に昇る「夏の大三角形」のうちの織女星ベガと彦星アルタイルが天の川をへだて輝きあうさまが目をひきます。そして天の川のふちに広がるへびつかい座、さそり座のあたりには明るい星雲、星団、そして銀河をさえぎる暗黒星雲がたくさんあります。



ヘラクレスのヒドラ退治

番組では、ギリシャ神話の英雄ヘラクレスが「ヘラクレスの12の荒業」の一つ、ばけへびヒドラを退治する物語を紹介します。また地球人のヒロシ君と宇宙人コスモが謎の天体ブラックホールを調査すべく宇宙船に乗って、その謎に迫ります。

プラネタリウムからのご案内

秋番組 一般投影

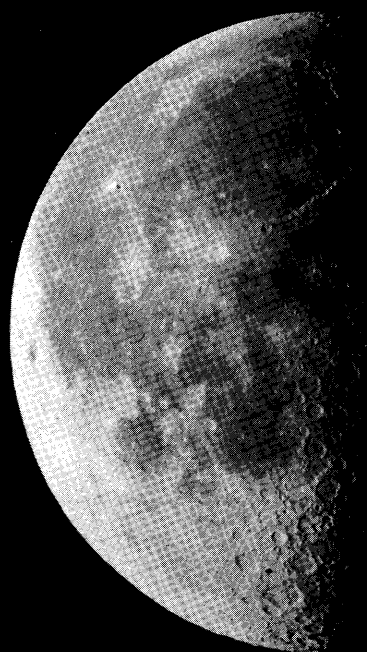
秋の星空と月

投影時間 35分

期間

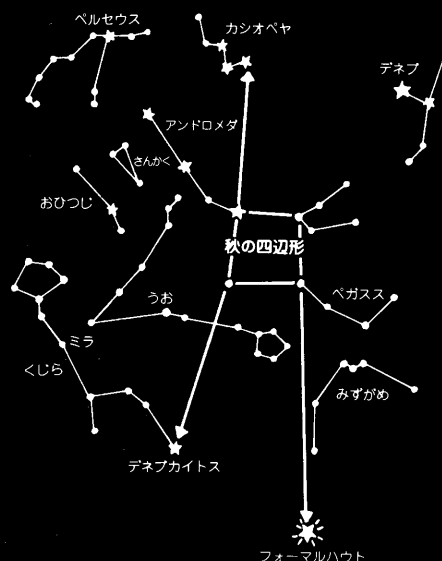
9/12~11/29

(月曜休館)



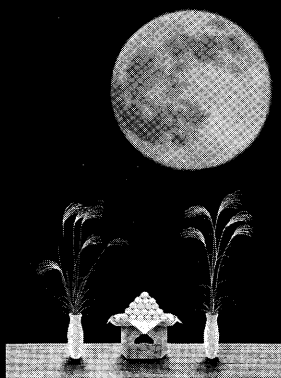
夏のようなハデさはないけれど、ロマンチックな秋の星座。南の空を見上げると、もう夏の星座は西に傾いて、かわって頭の上には秋の星座を代表する「秋の四辺形」が現れてきます。この「秋の四辺形」をとりまく星座にはペガスス座やアンドロメダ座などがあり、また地平線近くには「秋のひとつ星」と呼ばれる南のうお座の一等星フォーマルハウトを見つけることができます。

秋の星座の探し方



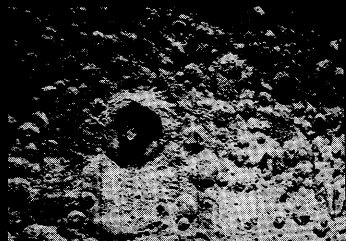
月の今昔物語

月は今から45億年位前に生まれたと言われます。地球の誕生とほぼ同じころです。夜空を照らす月は美しく、昔から歌によまれたり、信仰の対象になったりしてきました。月は地球にとってただ一つの天然の衛星です。そんな月の姿をみなさんと一緒に見ていきたいと思います。



くじら座の変光星ミラ

星の明るさはいつも同じと思われがちですが、中にははたるときに明るくなったり、暗くなったりする星があります。これを「変光星」といいます。くじら座のミラは星自身がふくらんだり、ちぢんだりする「脈動型変光星」の代表的な星の一つです。また変光星には連星からなる「食変光星」と呼ばれるものもあります。



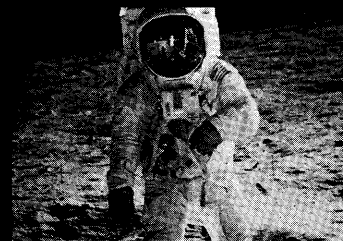
クラビウス山



アポロの写した月面岩石



月面上の飛行士①



月面上の飛行士②

料 金

大人 100円(80円)

小人 50円(40円)

() 内は20名以上の団体料金

投影日及び時間

土曜日	——	14:00
日曜及び祝日	10:30	14:00

※ご希望の方が20名以上の場合、他の日時でも投影いたします。また団体で申し込まれる場合は事前に博物館までご連絡下さい。

柏崎市立博物館

TEL 22-0567

プラネタリウムからのご案内

一般投影 冬番組

冬の星空と 星の一生

投影時間 35分

期間

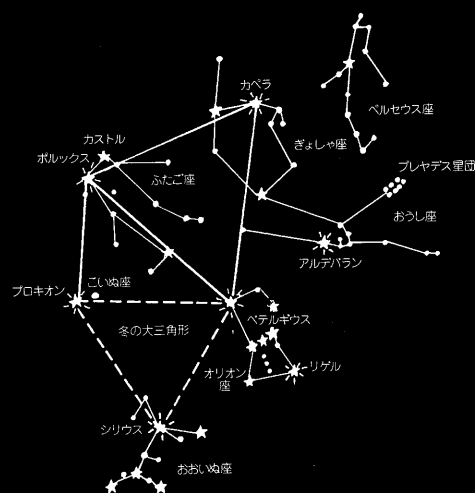
12/5～⁶³3/6

(月曜休館)

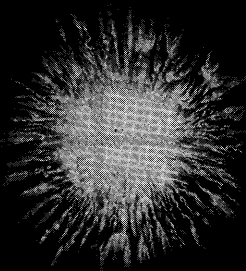
馬頭星雲の原始生
形成パターン(想像図)

しんと冷え込む真冬の夜、頭上には星々が一年中で一番美しくきらめいています。南の空には王者オリオンが堂々たる姿を見せていて、左上角の赤い一等星ベテルギウスと右下角の青白い1等星リゲル、そして中央の三つ星が目につきます。この三つ星を左下にのばすと全天一明るい一等星シリウス(おおいぬ座)がみつかります。また反対に、右上にのばすとオレンジ色の一等星アルデバラン(おうし座)がみつかり、その先にはすばるも目にとまることでしょう。

冬の星座の探し方



星の一生



生まれたての星、一生を終えた星。夜空に輝く星々は皆どれも同じように静かにまたたいているのに……。星はいったいどうやって生まれ、そしてどのように一生を送りやがて消えてゆくのでしょうか。

神々の王ゼウスは天使のいたずらで下界の王女エウロパに恋をしてしまいます。ゼウスは白牛に化けてエウロパに近づきます。そして何も知らないエウロパはすっかりその白牛と仲よくなるのですが……。



ゼウスの恋物語

料金

大人 100円(80円)

小中学生 50円(40円)

() 内は20名以上の団体料金

投影日及び時間

土曜日	——	14:00
日曜及び祝日	10:30	14:00

※ご希望の方が20名以上の場合、他の日時でも投影いたします。また団体で申し込まれる場合は事前に博物館までご連絡下さい。

柏崎市立博物館 柏崎市緑町8-35(赤坂山公園内) TEL22-0567

☆博物館の年末年始の休館日、12月28日～63年1月4日

☆プラネタリウムでは1月5・6・7日の3日間、午後2時より臨時投影を行います。

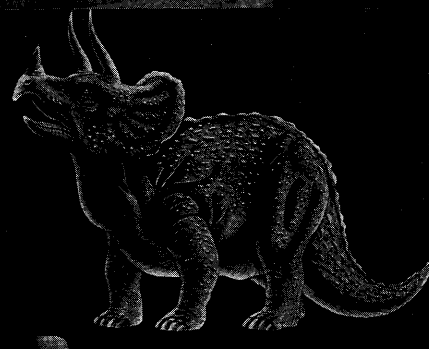
プラネタリウム一般投影 期間7月2日～12月18日

恐竜を滅した星

恐竜絶滅と隕石衝突説

今からおよそ6500万年前、突然姿を消した大型生物、恐竜。この恐竜たちはなぜ滅んでいったのか。この原因の有力な説として天体衝突説があります。地球上に残された物的証拠をみつけながら、その謎を解明してゆきます。

宇宙空間にただよっている小さなちりが地球に向かって飛びこんできた時に、大気のまさつで燃えだして発光する現象を流星といいます。大部分は大気のまさつで燃え尽きてしまいます。でもたまに燃え尽きないで地上に落下することがあります。これが隕石です。また現在、世界中で数千個の隕石が発見されていますが、特に大きなものが落下すると大きな穴をあけることがあります。このうちアメリカのアリゾナ州にあるバリンジャー隕石孔は最も有名で、穴の直径は1,280m、深さは180m もあります。



バリンジャー隕石孔(米：アリゾナ州)

天 体 情 報

火星 ～17年ぶりの大接近～

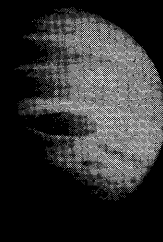
火星が今年は9月22日に地球に大接近、地球からわずか5881万kmという距離で、小望遠鏡でも表面の様子を楽しむことができます。今回の接近は実に17年ぶりのことで、次回は15年後の2003年になってしまうのでこの好機をとらえて火星面の様子をしっかりと観測したいものです。



火星の表面

木星 ～-2.9等のすばらしい輝き～

今年の木星観望の好期となる9月から年末にかけてのころは木星はおうし座に入り、プレアデス星団とヒアデス星団の間において-2.9等のすばらしい輝きを見せてくれることになります。木星の見かけの大きさはたっぷりあるので、小口径の望遠鏡でも表面のしま模様がながめられるでしょう。



木 星

今回の番組から季節の星座解説は担当職員による解説でわかりやすく皆さんに解説します。

料 金

大 人 100円(80円)

小中学生 50円(40円)

() 内は20名以上の団体料金

投影日及び時間

土 曜 日	——	14:00
日曜及び祝日	10:30	14:00

※ご希望の方が20名以上の場合、他の日時でも投影いたします。また団体で申し込まれる場合は事前に博物館までご連絡下さい。

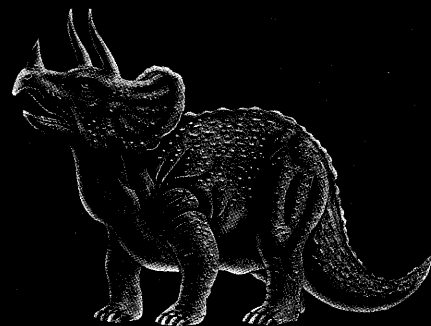
柏崎市立博物館 柏崎市緑町8-35(赤坂山公園内) TEL22-0567

プラネタリウム一般投影 期間7月2日～12月18日

恐竜を滅ぼした星

恐竜絶滅と隕石衝突説

今からおよそ6500万年前、突然姿を消した大型生物、恐竜。この恐竜たちはなぜ滅んでいったのか。この原因の有力な説として天体衝突説があります。地球上に残された物的証拠をみつけながら、その謎を解明してゆきます。

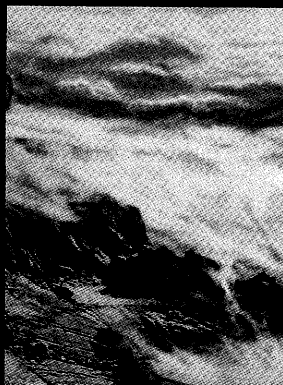


今回の番組から季節の星座解説は担当職員による解説でわかりやすく皆さんに解説します。

天体情報

フォボス火星へ

ソビエトを中心としたESA(ヨーロッパ宇宙機関)が火星を目的とした探査機フォボスを打ち上げました。フォボスの任務は火星の衛星フォボスを探査するため、まず火星表面を調べ、その後衛星に近づき、20分間にわたって50mまで接近します。来年の2月から3月ごろ、テレビでもその様子が見られることでしょう。



火星の砂嵐

プラネタリウム企画

★星空と音楽の夕べ★

皆さんに大好評だった「星空と音楽の夕べ」を今年もまた行います。星空と音楽の世界へどうぞ。

10月9日(日)16:00～16:40

～バラード特集～

・定員124名 ・申し込み制

お問い合わせは、博物館まで

学習投影のご案内

プラネタリウムでは、一般投影とは別に小学校4・5・6年生を対象とした学習番組「太陽と月と星の動き」も投影しています。学校教育の一環として、ぜひご利用下さい。また内容等についてもご相談に応じますので、観覧御希望の際は事前に博物館までご連絡下さい。

☐ 料

金

大人 100円(80円)

小中学生 50円(40円)

() 内は20名以上の団体料金

☐ 投影日及び時間

土曜日	——	14:00
日曜及び祝日	10:30	14:00

※ご希望の方が20名以上の場合、他の日時でも投影いたします。また団体で申し込まれる場合は事前に博物館までご連絡下さい。

柏崎市立博物館 柏崎市緑町8-35(赤坂山公園内) TEL22-0567

プラネタリウム一般投影

未知の生物

を求めよ

投影時間35分 期間12月24日～5月末(予定)



探査機パイオニアに積まれた宇宙人あての手紙

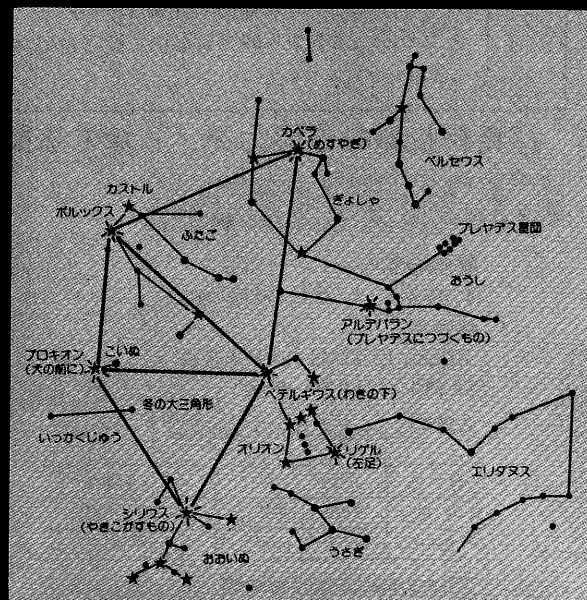
2×××年、人類は宇宙空間に居住区を作り、月や火星にも科学技術を駆使し、その開拓を進めていた。オズマ計画やメッセージを積んだ探査機の打ち上げなどを経て、ついに地球外生物からのメッセージと思われる電波をキャッチした人類はその天体をめざし、旅立ったのである。

季節の星座解説は担当の職員が手動でわかりやすく紹介します。

日本列島がくっきりと二分される季節です。日本海側にとってはどんよりした毎が続きます。でもその合い間の晴れた日の夜など一年中で最も豪華な星の輝く冬の星座を見ることができます。

冬の夜空には7個もの1等星が輝きを競いあっています。1等星の数は全天で21個。従ってその1/3が冬の夜空を飾っていることになります。また目を引くといえば、おうし座のプレアデス星団(すばる)の近くで巨光を放つ木星です。小望遠鏡でも表面の縞模様が観察できることでしょう。また木星の西側には赤い火星も見えていますが、こちらは話題を集めた大接近のころよりずいぶん小さくなりました。

冬の星座の探し方



主な天文現象<1・2月>

1月4日早朝 りゅう座流星群が極大(条件最良1時間に60個ほど)
2月20日 夜 皆既月食
その他 1月 ソ連探査機フォボス2号が火星に接近

料 金

大 人 100円(80円)

小中学生 50円(40円)

() 内は20名以上の団体料金

投影日及び時間

土 曜 日	——	14:00
日曜及び祝日	10:30	14:00

※ご希望の方が20名以上の場合、他の日時でも投影いたします。また団体で申し込まれる場合は事前に博物館までご連絡下さい。

柏崎市立博物館 柏崎市緑町8-35(赤坂山公園内) TEL22 0567

地球は丸かった

＜投影時間35分＞



毎回投影時に担当職員が「今夜の星空」と題してその日に見える星空を紹介しています。

柏崎市立博物館 柏崎市緑町8-35(赤坂山公園内) TEL 22-0567